



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成30年1月12日
= 1月号 =

校長の独り言



新年、明けましておめでとございます。保護者のみなさんは、この年末年始をどのように過ごされましたか？子どもが小さい頃は、大晦日の夜を実家で過ごしていました。実家が寺院でしたので、毎年、子どもと一緒に「除夜の鐘」をつきながら、新年に向けたカウントダウンをしていました。

「除夜の鐘」は中国の宋の時代に起源し、鎌倉時代に日本へ伝わり、室町時代に国内で広まり、江戸時代にこの寺院でもつくようになったそうです。こうして大晦日につくの。それは、一年が終わる最後の夜「除夜」に、人間の煩惱（心の乱れ）を鐘の音を聞くことで追い払うためです。人間の煩惱は一〇八あることから、一〇八回鐘をつきます。俗説として四苦八苦（四×九十八×九十一〇八）という説もあります。「除夜の鐘」は一〇七回までは大晦日のうちにつき、最後の一〇八回目は、年明けの〇時につくことになっていきます。厳密にはそのようになっていませんでしたが…。

ついた数を忘れてたり間違えたりすると大変ですから、右のポケットにマメを一〇個入れ、一〇回つくことに左のポケットへ一個ずつマメを移すようにして、一〇八回まで数えるようにしていました。

高校一年生の時に得度（僧侶の資格を得る修行）をし、僧侶の資格を持っていた時期があったので、つい「除夜の鐘」の話が長々としてしまいました。

さて、今年はどうと、長男は仕事でアメリカにおり、そこへ妻と長女が遊びに行き、次男は中学・高校の友人に会いに福井市へ。結局、年末年始を一人で過ごしました。テレビを見ながらお酒を飲み、飲み過ぎて誰からも文句を言われない。本当にのんびりと過ごしました。しかし、会話をすることなく、人と接することもないと頭を働かせることがないので、痴呆症になるのではと心配になりました。

外国語活動（三・四年生） 外国語科（五・六年生） 先施行

今年、福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催する福井県ですが、小学校教育では四月から国に先駆けて、三・四年生で外国語活動、五・六年生で外国語科の授業が実施されます。

国際化が急速に発達する中で、今の小学生が社会人として活躍する頃には、日々の生活や仕事の場面で、これまで以上に外国語、特に英語によるコミュニケーションが必要とされる世の中になることから、小学校段階で、英語を使ったコミュニケーションの素地や基礎を身につけていくことが必要です。

赤ちゃんは、周りの大人の言葉を聞き、真似をすることでしゃべれるようになります。その時に、一語で話すよりも、二・三語の言葉で話す方が良いと言われています。例えば、お母さんと赤ちゃんが一緒にリンゴを食べる時、「リンゴ」だけでなく「ママ（わたしは）・リンゴが・好き」と話す方が、赤ちゃんも「コミュニケーション」をとりたがるという意欲を持ち、話すようになるというわけです。

三・四年生の外国語活動は、このようなイメージを持っていただく良いかと思えます。先生が「I like apples. Do you like apples?」と尋ねると、尋ねられた子どもが「Yes, I do./No, I don't. I like melons.」と返るような活動です。「聞く」「話す」「書く」の重点をおいた授業になります。

三・四歳になると、「〇〇ちゃんは、走るのが速い」「〇〇ちゃんが、動物園へ行った」とお友達のことを話すようになります。話の中に「わたし・あなた」だけでなく、「〇〇ちゃん（彼・彼女）」という三人称（He/She）が用いられる、「行った」という過去形（went）

「なわとび」練習が、体育の授業や休み時間に始まりました。「継続は力なり」です。



『カーネーション』です。この花の歴史は古く、古代ギリシャ時代から香料として栽培されていたそうです。ヨーロッパでは、キリストが処刑されたときに、聖母マリアが流した涙のあとから生えた花という言い伝えがあるようです。

花言葉は「感謝」です。学校では1年の締めくくりとなる3学期が始まりました。子ども達は、この1年で大きく成長してくれましたが、そこには、お家の方の温かい励ましや応援があったからこそです。お家の方への「感謝」の気持ちを持ち、1年の締めくくりをしっかりと、次の学年を迎えて欲しいなと思います。

【お知らせ】
学校では、制服上着の中に着るポロシャツやカッターシャツ・ブラウスの下に、半袖体操服を『着用しない』という指導を行いません。季節により衛生面等をよく考え、各家庭で判断していただきますようお願いいたします。



文責：山名 聡

Unit 5 She can run fast. He can jump high.

Listening This is Mr. Tanaka. She can't. She can. I can't. Look! I can. I can.

が出てきたりします。また、この頃になると、絵本を読んだりしていると、子どもが絵本に書かれている文字を見て自分で絵本を読んだり、その文字を真似て書いたりするようになります。

五・六年生の外国語科は、このようなイメージを持っていただく良いかと思えます。英語を「聞く」「話す」「書く」の幅が広がることも、「英語を」読むこと「書く」も慣れさせていく授業になります。

外国語活動でも外国語科でも、日常生活の中で、相手に自分の思いや考えを伝える必要が出てくる場面や状況を設定し、英語を使って思いや考えを伝えていきたいと思います。

三・四年生に外国語活動、五・六年生に外国語科が加わる関係で、三年生から六年生までは、週一時間、授業時数が増えることとなります。

今富小学校では、四月から次のように日課を変更する予定です。

- ・三年生 火曜日 五限後下校 → 六限後下校 (一五時一五分) → (一六時一〇分)
- ・四・六年生 木曜日 六限後下校 → 七限後下校 (一六時一〇分) → (一六時二〇分)
- ・一・二年生 変更はありません

ご承知おまかせください。

ご意見・ご感想をお聞かせください。 (5年生の教科書 →)

お名前 () <キリトリせん>

